

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
半期	1 年	2	必修
担当教員			
後藤 小百合			
C (商学部)	S (専門科目)	AC (会計)	101 (基礎・入門科目)

授業のねらい（概要）	企業会計に関する知識と能力を修得させ、その基本的な仕組みについて理解することにより、適正な会計処理を行う能力と態度を育てることを目的とする。会計の意義と役割及び会計の目的と分類について概説したうえで、資産、負債、純資産（資本）、収益、費用、利益などの会計の基礎概念について学修する。そのうえで、簿記の仕組みと損益計算書、貸借対照表、会計原則などの財務諸表、製造原価、管理会計、税務会計の基本的事項について学修する。		
授業計画	第1回	〔遠隔〕 オリエンテーション 会計学の学び方、会計学概論の学習目標 会計と制度（１） 会計の意義・役割、会計の種類、会計の目的 予習（時間）：シラバスを読んでくること。（120分） 復習（時間）：会計制度の必要性について配布資料を中心に復習しておくこと。（120分）	
	第2回	〔遠隔〕 会計と制度（２） 株式会社制度と会計 ディスクロージャー制度の必要性 有価証券報告書 粉飾と会計監査 予習（時間）：会計情報のディスクロージャー制度について調べ、予習してくること。（120分） 復習（時間）：配布資料の復習をしておくこと。（120分）	
	第3回	〔遠隔〕 財務諸表の基礎 財務諸表の種類と作成目的 貸借対照表・損益計算書の基礎知識 利益計算構造の理解 予習（時間）：財務諸表について調べ、予習してくること。（120分） 復習（時間）：貸借対照表と損益計算書の関係性について配布資料を復習しておくこと。（120分）	
	第4回	〔遠隔〕 複式簿記の仕組み（１） 取引、仕訳、転記、元帳から試算表作成 精算表の作成 貸借対照表・損益計算書の作成 予習（時間）：簿記一巡の具体的手続きについて調べ、予習してくること。（120分） 復習（時間）：配布資料を解き直し、復習しておくこと。（120分）	
	第5回	〔課題〕 複式簿記の仕組み（２） 簿記一巡の会計処理に関する演習問題 予習（時間）：前回の配布資料の例題を解き直してくること。（120分） 復習（時間）：本日の演習問題を解き直しておくこと。（120分）	
	第6回	〔課題〕 中間テスト 連結財務諸表 連結財務諸表の意義・役割 連結財務諸表の種類 連結決算の方法 未実現利益の意義と計算方法 持分法 予習（時間）：中間テスト対策（120分） 復習（時間）：連結財務諸表について配布資料を中心に復習すること。（120分）	
	第7回	キャッシュ・フロー計算書 キャッシュ・フロー計算書の意義・構造 キャッシュ・フロー計算書の作成方法（直接法、間接法） キャッシュ・フロー計算書の利用、読み方 予習（時間）：キャッシュ・フロー計算書について調べ、予習してくること。（120分） 復習（時間）：「営業活動によるキャッシュ・フロー」の部分を中心に、配布資料の復習をしておくこと。（120分）	
	第8回	株主資本等変動計算書	

	株主資本等変動計算書の意義 株主資本の変動要因 株主資本変動計算書の作成 予習（時間）：株主資本等変動計算書について調べ、予習してくること。（120分） 復習（時間）：株主資本等変動計算書の作成方法を配布資料を中心に復習すること。（120分） 第9回 財務分析の基礎（１）－安全性の分析－ 安全性の分析を行う意義 基本的財務指標（自己資本比率、流動比率、当座比率、固定比率、固定長期適合率）を用いた財務分析 予習（時間）：財務分析の様々な指標について調べ、予習してくること。（120分） 復習（時間）：講義時に配布した資料の事例を中心に分析方法について復習しておくこと。（120分） 第10回 財務分析の基礎（２）－収益性の分析－ 基本的分析指標（RO S、RO E、RO A）を用いた財務分析 予習（時間）：損益計算書、貸借対照表の基本構造について第3回の講義資料をもとに予習してくること。（120分） 復習（時間）：RO E、RO Aを中心に配布資料の復習をしておくこと。（120分） 第11回 原価計算の基礎 原価計算の意義・役割 各種原価計算の分類と基本構造 原価低減の考え方 予習（時間）：原価計算システムについて調べ、予習してくること。（120分） 復習（時間）：原価低減についての事例を配布資料を中心に復習しておくこと。（120分） 第12回 管理会計の基礎 管理会計の意義・役割 P D C Aサイクルと利益計画 C V P分析 予習（時間）：管理会計の意義・役割について調べ、予習してくること。（120分） 復習（時間）：C V P分析を中心に配布資料の復習をしておくこと。（120分） 第13回 投資の可否の判断について 意思決定会計 割引現在価値の意義・計算方法 設備投資の意思決定 予習（時間）：企業経営における意思決定の事例を調べ、予習してくること。（120分） 復習（時間）：設備投資の事例を中心に配布資料の復習をしておくこと。（120分） 第14回 企業価値評価の基礎 株式市場における企業価値の評価方法 株価はどうやって決まるのか。 リスクとリターンとの関係 ポートフォリオ効果 企業価値の算定方法（時価総額、P E R、P B R等） 予習（時間）：授業中指示したテキストの該当箇所を予習してくること。（120分） 復習（時間）：ポートフォリオ効果やP E R、P B Rを中心に配布資料の復習をしておくこと。（120分） 第15回 〔課題〕 法人税の計算の基本 企業の社会的責任 まとめ 予習（時間）：法人税の計算方法について調べ、予習してくること。（120分） 復習（時間）：企業の社会的責任と会計制度について、説明できるようにする。（120分）
授業を通して身に付けることができる能力（DP）	【商学部（経営学科・会計学科）】DP「2. 情報の収集、分析を行い、進んで課題解決に臨む姿勢」「3. 専門的分野の学びを、実務や社会で応用できる能力」を身に付けることを意識した科目である。 【商学部商学科】DP「3. 商学の各分野に関する基礎知識と、ビジネスに関する基本的な技能、ホスピタリティ精神を持ち、知識基盤社会において高度化するビジネスへの参画と、自らのキャリア形成を目指している。」を意識した科目である。 【身に付くスキル】 情報活用能力・課題解決力
到達目標	①企業会計制度全般について基礎知識を有していること。 ②財務諸表３表（貸借対照表、損益計算書、キャッシュ・フロー計算書）および連結財務諸表の意義・役割について理解していること。 ③複式簿記の仕組みについて理解し、簿記一巡の基本的計算を行うことができる。 ④財務分析の意義を理解し、基本的な財務指標を用いた分析ができる。 ⑤原価計算の意義を理解し、製造原価の計算について基本的計算構造を理解していること。 ⑥管理会計の基本を理解していること。 ⑦企業会計と税務会計の関連性や法人税の計算方法について基本事項を理解していること。

課題や小テスト等のフィードバックの方法	提出課題の提出状況、内容等の解説については授業の際に全体に説明します。
履修上の注意	やむを得ない理由がない限り、欠席しないこと。 予習・復習をしっかりと行うこと。 複式簿記に関する中間試験は実施せず、課題提出に変更する。
成績評価の方法・基準	課題提出20点×5個（100%）で評価する。
教科書	
参考書・教材	【教材】講義時に適宜指示します。
備考	講義科目:2020年度は、5、6、15回を課題研究として学修する。 〔第5回〕第4回の複式簿記の仕組み(1)の動画を参考にしながら、当該授業ではMellyから配信される資料をもとに課題を実施する。第4回の授業の復習、指示の確認、実際の演習で全体として330分の学修を想定している。 〔第6回〕本来は中間テストを実施する予定であったが、課題提出に変更する。Mellyから配信される複式簿記一巡の課題を第4回,第5回の授業内容を復習し、課題を行い、Mellyで提出する。全体として330分の学修を想定している。 〔第15回〕Mellyから配信される資料を熟読し、レポートを作成する。完成したレポートはMellyで提出する。全体として330分の学修を想定している。
教員との連絡方法	メール（アドレスは授業内で周知）